

## シマダヤグループ 環境会計

環境活動をより効率的に推進するため、またシマダヤグループの環境活動を広くご理解いただくために、シマダヤグループでは、環境会計を導入しています。

### 環境会計の集計について

- 【集計範囲】 シマダヤグループ(シマダヤ及びシマダヤグループ10社12工場※)
- 【対象期間】 会計年度に準拠(2017年度:2017年4月～2018年3月)
- 【集計方法】 環境省「環境会計ガイドライン2005年版」に準拠

シマダヤグループ工場10社(12工場) ※グループ工場は2017年度の名称で記載しております

東京シマダヤ(株)、宮城シマダヤ(株)古川工場、宮城シマダヤ(株)郡山工場、エス・エス・デリカ(株)、中部シマダヤ(株)、埼玉シマダヤ(株)、高砂食品(株)、(株)群麵センター、シマダヤ近畿(株)滋賀工場、シマダヤ近畿(株)兵庫工場、中野食品(株)、(株)千鳥屋製麺所

## 環境保全コスト

…事業活動における環境保全のために投入した投資や費用

分類	2017年度の主な取組内容	前年比	
		投資額※1	費用額※2
1 事業エリア(①-③)内コスト		119.3%	103.8%
内訳	①公害防止コスト	132.6%	102.1%
	②地球環境保全コスト	115.5%	78.7%
	③資源循環コスト	103.9%	112.8%
2 上・下流コスト※3	製品・資材のリサイクル、再商品化等	150.0%	118.4%
3 管理活動コスト※4	環境取組、環境教育、環境情報の公開など	100.0%	95.7%
4 社会活動コスト※5	地域貢献に関わる活動など	-	548.7%
合計		119.5%	104.7%

(※1)投資額……対象期間における環境保全を目的とした支出額で、その効果が数期にわたって持続し、その期間に費用化されていく費用

(※2)費用額……対象期間における環境保全を目的とした財・サービスによって発生する費用

(※3)上・下流コスト……主たる事業活動に伴って、その上流または下流で生じる環境負荷を抑制するための環境保全費用

(※4)管理活動コスト……社内における環境保全に関するシステムの運営、教育、情報の公開に伴う費用

(※5)社会活動コスト……外部とかかわりをもって実施した、環境保全に関する社会・環境活動に伴う費用

(※6)ボイラー設備……燃料を燃焼させて得た熱を水に伝え、水蒸気や温水に変える熱交換装置をもった熱源機器

### ■2017年度コスト別比率

#### ◎公害防止コスト……28.4%

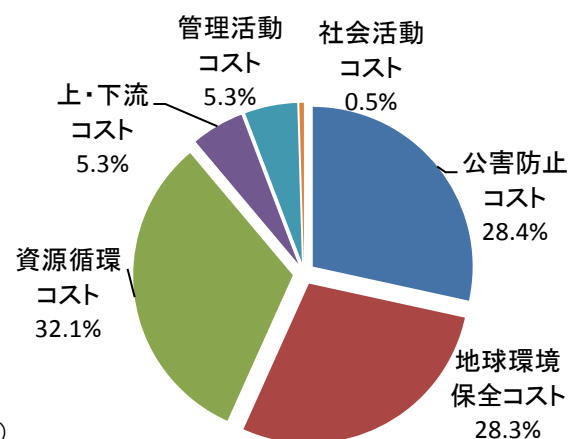
・事業活動が要因となって生じる有害な影響(人の健康、生活環境に生じる被害など)を防止するためのコスト

#### ◎地球環境保全コスト……28.3%

・人の活動が要因となって、地球全体またはその広範囲にわたって環境に及ぼす影響(地球温暖化、オゾン層破壊など)を抑制するためのコスト

#### ◎資源循環コスト……32.1%

・環境や資源を保全し、現在と将来において繰り返し利用できる資源の循環に取り組むためのコスト  
(例:廃棄物の発生抑制・適正な処分、リデュース・リユース・リサイクルなど)



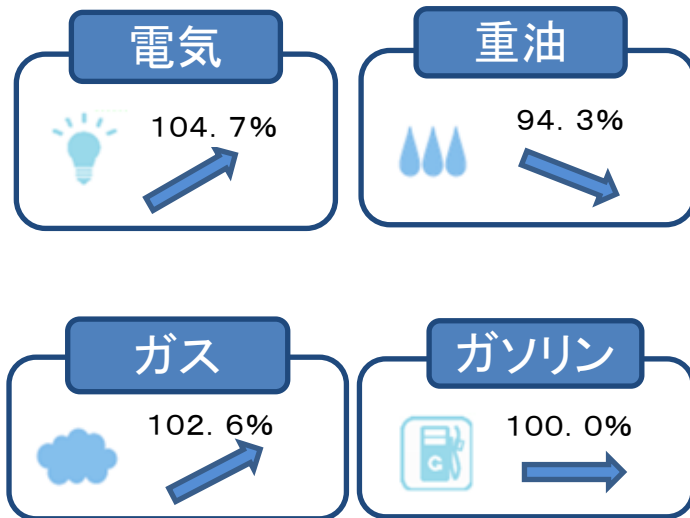
#### ・投資額

生産工場で、主に公害防止(雨水排水処理工事)、地球環境保全(汚泥処理設備更新)、資源循環(熱回収・再利用装置)への投資を行ったことにより、前年より19.5%の増加となりました。

#### ・費用額

廃棄物処理・運搬費用、生産工場の設備維持費用などの増加により、前年より4.7%の増加となりました。

## ■資源使用量の前年比



### ・電気

生産量の増加による電力使用の増加に伴い、前年より4.7%の増加となりました。

### ・重油、ガス

生産量増加によるガス使用量の増加に伴い、ガスは前年より2.6%の増加となりました。

生産工場におけるエネルギー源を一部重油から変更したことに伴い、重油は前年より5.7%の減少となりました。

## 環境保全対策に伴う経済効果

…事業活動における環境保全により得られた経済的な効果

- 収益…対象期間において、環境保全により得られた金額(不要物やリサイクルによる有価物の売却益など)
- 費用節減…対象期間において、環境保全により発生した電気・燃料、廃棄物の処理などの費用のうち節減した金額

単位:千円

効果の内容		2017年度 売却額
収益	リサイクル可能な有価物による収益	1,344
効果の内容		2017年度 節減額(前年差)
費用節減	①省エネルギーによる節減額(電気+燃料)	▲116,243
	②廃棄物処理費の節減額	▲15,809

### ・収益

本来廃棄物となるものに対し、リサイクルを推進し、上記の収益となりました。

### ・費用節減

①省エネルギーによる節減額(電気+燃料)は、生産食数の増加に伴い使用量が増加し、また単価の上昇もあり増加となりました。

②廃棄物処理費は廃棄物処理方法の変更等により増加し、また単価の上昇もあり増加となりました。

以上